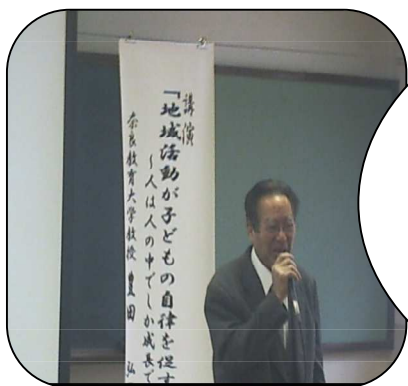


平成19年度 第3回 3月 音羽コミュニティ便り

京都市立音羽小学校
学校運営協議会
会長 河村 政次
学校長 田上 恭史

3月1日(土)平成19年度の学校運営協議会の締めくくりとして、奈良教育大学の豊田弘司教授をお招きして講演会を行いました。

土曜日でしたが、地域や保護者の皆様に多数参加していただきました。豊田先生は、地域と学校がどのように協力して子どもの自律を支援していけばよいのかを、楽しく、そして熱く語っていただきました。



河村会長の挨拶の後、学校長が、1年間の6つの推進委員会の取組についての振り返りを行いました。パワーポイントの画像を見ていただきながら、1年間の取組を具体的に振り返ることで、それぞれの推進委員会の活動を互いに確認しました。

年間のそれぞれの取組を振り返ると、いかに地域に支えられて活動が成り立っているかを実感しました。



地域活動が子どもの自律をうながす ～人は人の中でしか成長できない～

地域活動は、子どもの自己理解の手がかりになります。

- ・人との会話の中に楽しさを
- ・手伝ってあげたことへの満足感を
- ・感謝されたことへのうれしさを
- ・年少のかわいさ、
- ・年長の方の偉さ、優しさ、
- ・なんでも話せる安心感



地域活動が、活発になると子どもが、大きく育ちますよ。人間は、楽しくないと参加しません。楽しい地域活動をたくさん子供たちに提供してください。

地域活動から、自分の住んでいる地域が好きという実感が生まれます。

地域が「安全確保」と「学力向上」だけではない「心が自由になれる場所～居場所～」となる。ここでは、よい自分のイメージを作ることができる。

地域活動運営のポイントは・・・

- 1 児童・生徒同士の交流を促す活動を大切にすること。
- 2 地域ボランティアの方と教員と保護者の個人的ネットワークを大切にすること。



平成19年度学校運営協議会に、ご協力いただきありがとうございました。来年度も、音羽小学校と地域の更なる発展を目指して、学校と地域、家庭がますます連携を深めていきたいと思っております。平成20年度の推進委員に是非、手を上げていただきご協力とご支援をお願いいたします。